



ULT-S

手振補正機能ゴルフ用レーザー距離計

取扱説明書

VER.23.8

**JUST OKAY IS NOT ACCEPTABLE
WE WANT YOU TO BE HAPPY**



私たちが
最大限サポートいたします。



日本国内カスタマーサポート
フリーダイヤル **[0120]957-188**

同梱物について

- | | |
|-----------------|------------|
| 1x レーザー距離計 | 1x 専用ポーチ |
| 1x CR123 3V 電池 | 1x ストラップ |
| 1x マイクロファイバークロス | 1x 簡易マニュアル |

= 特 徴 =

- ・「JGA・USGA・R&A」ルール適合品
※トーナメントルール「規則14-3」公式競技でもローカルルールで認める場合「傾斜OFF」での使用が可能
 - ・可視－傾斜切替スイッチ
 - ・霧(Fog)モード搭載
 - ・自動電源オフ機能
 - ・接眼レンズ部分の「眼鏡対応仕様」
 - ・最大10秒間のレーザー測定
 - ・「ピン」までの最大測定レンジ**300 yards**
 - ・「木」までの最大測定レンジ**800 yards**
 - ・「反射ターゲット」までの最大測定レンジ**1200 yards**
- ※仕様は予告なく変更になる場合がございます。

スペック(仕様)

対物レンズ	22mm
レンズ倍率	6倍
レンズ視野角	6°
射出瞳径	3.6mm
視度調整	±3
作動温度	-10 to 55° C
測定精度	±1 ヤード / メートル
使用電池タイプ	CR123 3V
電池残量表示	
手振補正機能	あり
振動(ハイクレクション)機能	あり※2点計測時
ピンLOCK機能	あり※特定モード
重量(電池無し)	204g
本体サイズ	112x76x42mm

※仕様は予告なく変更になる場合がございます。

さあ、使ってみましょう

自分の距離が分かれば
自分のゴルフが分かる!

モード(MODE) 切替ボタン

本体先端の「スロット」状態で選べる測定モードが異なります

○ 引き出した状態 = M3のみ

○ 収納した状態 = M1・M2

また「約3秒長押し」で設定変更に切り替わります。

電源ボタン

このボタンを押すとスイッチが入り 8秒以上使用しないと「自動」で電源がオフ(OFF)になります。

アイピース (接眼レンズ)

この部分を覗きながら
左右に回して「焦点」
を合わせて下さい。

ストラップ取付口

付属のストラップなどを
取り付ける際にご使用
ください。

バッテリーカバー

回して取り外して電池
(CR123 3V)の入れ替え
を行ってください。

対物レンズ

高性能なレーザー
テクノロジーを搭載

傾斜モード切替 「スロット」

※18-19頁参照



電池(CR123)を入れましょう!



1. 電池を入れる場所は本体接眼レンズの下にあります。上図③のように「蓋のフラップ」を摘んで立てて「反時計まわり」にまわして開けます。
2. **CR123 3V**リチウム電池を上図の様にマイナス端子を本体奥に入れて内部のバネに当たる様にしてください。
3. 電池を入れたら+端子が見えている(=正しい方向)のを確認して蓋を戻し、「時計まわり」に回して蓋を閉めて下さい。

*バッテリーを取り外すと、設定内容はリセットされ出荷時の設定に戻ります。

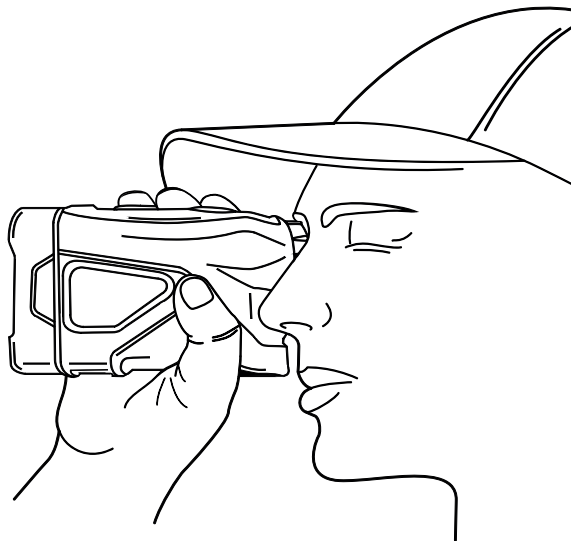
付属ストラップの取付け


1. ストラップを穴に通して輪っかにする。
2. 小さい輪の方で結び目を作り、ストラップの大きい輪の方を引っ張る。
3. リストストラップを手首に通して、落下によるダメージや衝撃から守る。

※本製品は『精密機器』です、落下ダメージは故障の最大要因ですお気を付けください。



距離計の持ち方



1.  電源ボタンを天に向けた状態で計測器をまっすぐ持ちます、
2. アイピース(接眼レンズ)越しに中を覗きます。

手振補正機能について

搭載のOptical Image Stabilization (OIS/光学画像安定)の機能は自動でオンになります。

OISは照準があっているときに、自動で手振れを補正します。

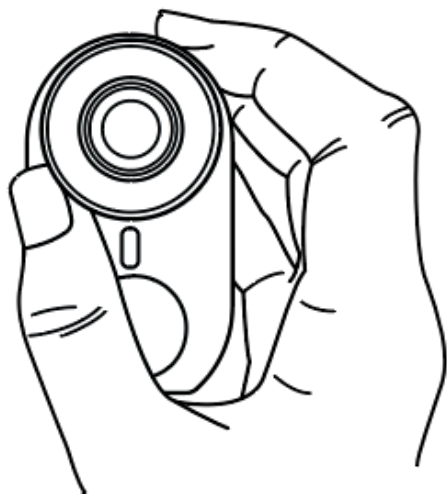
※また、本体を振ると部品が「動く音」がしますが故障では無く、この手振補正機能(レンズ部品)によるものです。

正確な測定のためには計測器を『まっすぐ安定して持つことが必要』です。

さらに、ゴルフ以外でも、建築物の調査やアウトドアの用途でもご使用可能です。

天候やターゲットのサイズ、形、表面、カラーなどにより、パフォーマンス(精度)に影響が出ることがあります。

アイピース(接眼レンズ)の調整



1. アイピース(接眼レンズ)越しに中を覗きます。
2. 覗きながらこの黒いゴム部分を左右に回して「焦点」を合わせて下さい。
(7頁参照)

眼鏡・サングラス着用時の使用

1. 眼鏡、サングラス等を着用している場合、接眼レンズのゴムの部分を下図1の様に「反転」させてからご使用下さい。
2. 眼鏡やサングラス等を着用していない場合は、接眼レンズのゴム部分は下図2の様に折りたたまずにそのままにします。この方法が、外からの光を遮断でき、よりクリアに測定値を確認できます。



活性化レーザー (ACTIVATED LASER)

TecTecTec! ULT-S™レーザー距離計

本機は目に安全なレーザー光を使用してパルスの「照射と反射までの時間」を利用して最長1093ヤードまでの距離を測定することが可能です。

本製品は各「測定モード」で使用しているレーザーが異なります。
右頁に表示している使用モードは電源を入れたら、液晶画面「中央上」に下記のいずれかが表示されます。

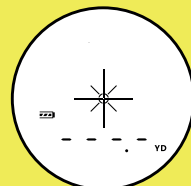
「 $\overline{11}$ 」…ノーマルモード／スキャンモード

「 $\overline{12}$ 」…ピンモード

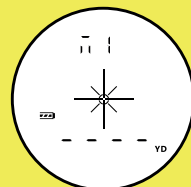
「 $\overline{13}$ 」…傾斜モード

レーザーは計測距離が確定する前は断続的に放射しています。

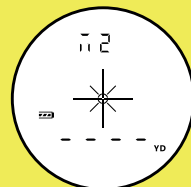
M1 ($\overline{11}$)と**M2** ($\overline{12}$)の測定
距離は下図↓⑤の画面下部に「直線距離」が表示されます。
-この2つのモードでは中央上部に距離は表示されません。



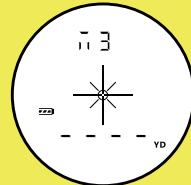
距離測定中



ノーマルモード/スキャンモード・M1

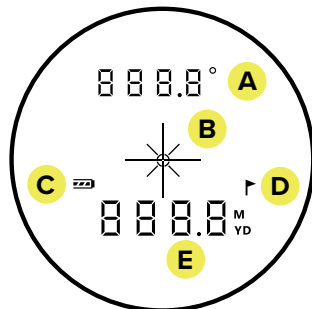


ピンモード・M2



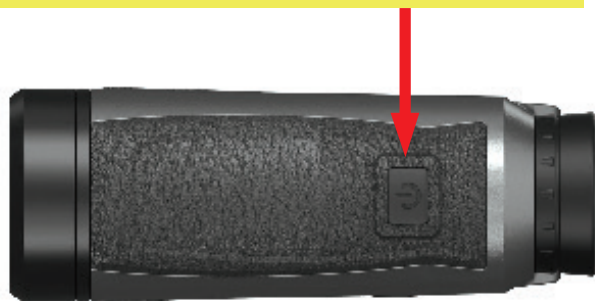
傾斜モード・M3

M3 ($\overline{13}$)は傾斜測定+ピンモードになります。中央上部の①部分に傾斜を考慮した「必要距離」を表示します。測定完了後に「MODE」ボタンを押すと目標までの「傾斜角度を表示」します。




- A) 傾斜を考慮した
実際に必要な距離／傾斜角度
- B) ターゲット照準線
- C) バッテリー残量
- D) ピンモード使用表示
- E) 直線距離 (メートル/ヤード)

電源ボタン



○ 電源を入れる

本体の「」電源ボタン（上図）を押すと電源がオンになります。


● 電源を切る

本機は電源がオンの状態から「8秒以上」どのボタンも押さないと自動的に電源がオフになります。

MEMO : 自動で電源がオフになった後で、再度電源をオンにした際に表示されるのは、最後に使用したモードです。

モードボタン



1. 設定画面に入る際は「 モードボタン」を約3秒長押しして下さい。
※各設定は20－23頁を参照してください。
2. 測定モードを変更したい場合は
※各モードは18－19頁を参照してください。
(上図は傾斜モード「M3」のみ使用できる状態)

測定モードの切替方法



傾斜モードをオンにする

上図↑の「左先端」のスロットを引き出すと自動的に傾斜モード「M3」に切り替わります。

※オレンジ部位が見える状態(上図左)



傾斜モードをオフにする

上図↑のように「左先端」のスロットを戻すと「M1」又は「M2」のみ選択可能です。

メモ：R&AおよびUSGAでは傾斜モードでの使用は禁止されています。傾斜モードの使用の可否はプレーされるコースのローカル・ルールや各大会の運営委員会に確認して下さい。

使用モードと 設定(SETTING)

本レーザー距離計では下記3つの測定モードを
本体先端スロットの状態で設定します。

図1) 収納した状態 = M1・M2 (24-29頁参照)

図2) 引き出した状態 = M3のみ (30-31頁参照)

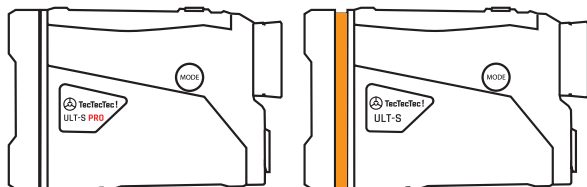
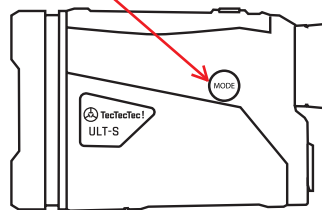


図1

図2

各種機能設定の変更は、最初に電源オンにした状態で
「**MODE** モードボタン」を約3秒長押しして下さい。
(詳細は22-23頁をご確認下さい)

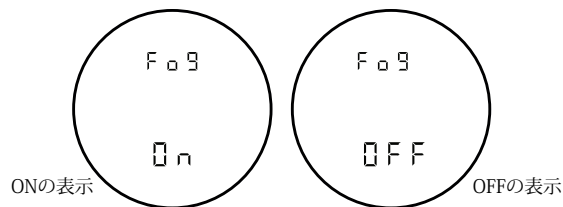


設定(SETTING)下記の順で表示されます

- 1: 霧(Fog)モード
↓
- 2: 距離表示の変更(ヤード またはメートル)
↓
- 3: ターゲット照準線の変更
↓
- 4: 計測画面に戻る

1:Fog(霧)モードのオン／オフ

「Fog(霧)モード」の起動は、電源をオンにした後、「MODE」モードボタン」を約3秒長押しすると、液晶画面の中央上に「Fog」が表示されます。

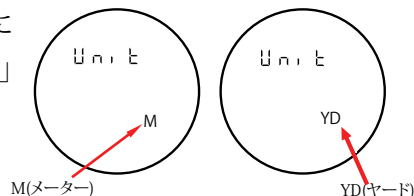


「Fog」が画面表示中に「電源ボタン」を押すと画面下の「On／OFF表示」が切り替えられます。「Fog(霧)モード」が「On」の状態になると、本体の電源起動時にFog Onの表示が2回点滅表示されます。「Fog(霧)モード」は霧の濃さによりますが通常計測時間(0.6秒)より計測に時間がかかります。

注意:一度「霧(Fog)モード」は雨や霧の際に測定しやすい計測モードですが、晴天時に使用すると逆に正しく距離が測定出来ませんので、晴天時は必ず「OFF」にして計測して下さい。

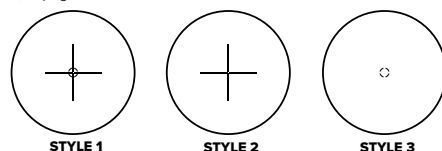
2:表示距離の変更(ヤードまたはメートル)

ヤード／メートル表示を変更するには電源をオンにして「MODE」モードボタン」約3秒長押しすると「Fog」の表示後に更に「MODE」モードボタン」を1回押すと「Unit」が表示されます。次に「電源ボタン」を押すことで切り替えができます。



3:ターゲット照準線の変更


画面中央の照準線を変更するには電源をオンにして「MODE」モードボタン」約3秒長押しして「Fog」の表示後に「MODE」モードボタン」を2回押して、照準線が表示されたら「電源ボタン」を押すことで切り替えができます。



ノーマルモード(M1)+振動


「ノーマルモード」は測定物までの正確な距離を素早く計測することができます。


「ノーマルモード」は測定物との間に何も他の測定物がない状況や、測定物の後ろに他の測定物がない状況で使用します。

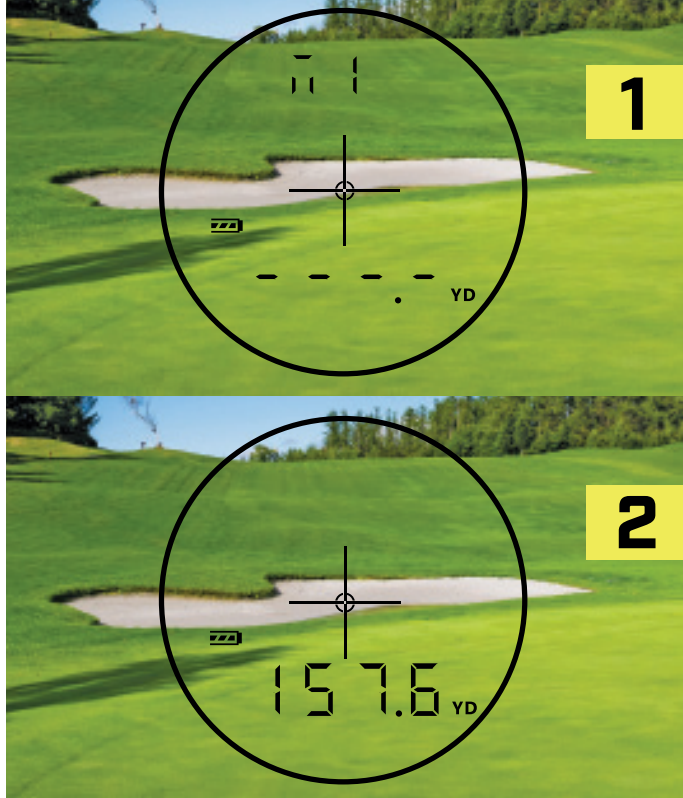
計測は「 電源ボタン」を1回押します。

スキャンモードは「風の強い日」や
「目標が見えにくい場合」にお勧めです。

- 1** 電源をオンにした後、「M1」の表示になっていることを確認して下さい。(25頁 図1参照)
※25頁では「バンカーまでの距離を測定」

- 2** 右項の様にバンカーに照準を合わせて、
「 電源ボタン」を軽く押して下さい。
計測が終わると液晶画面の中央下に距離
(直線距離)が表示され本体が振動します。

他の目標への計測をしたい場合は、同様に
「 電源ボタン」を軽く押して下さい。




★ ノーマルモードとスキャンモードは画面右に
「ピンフラッグ(🚩)」は表示されません。

ピンの計測は「M2」又は「M3」を使用して下さい。

スキャンモード(M1)


※電源ボタンを長押し


スキャンモードは、コース内のバンカー、林、池などの複数の場所を、連続で測定することでクラブ選択に役立てます。

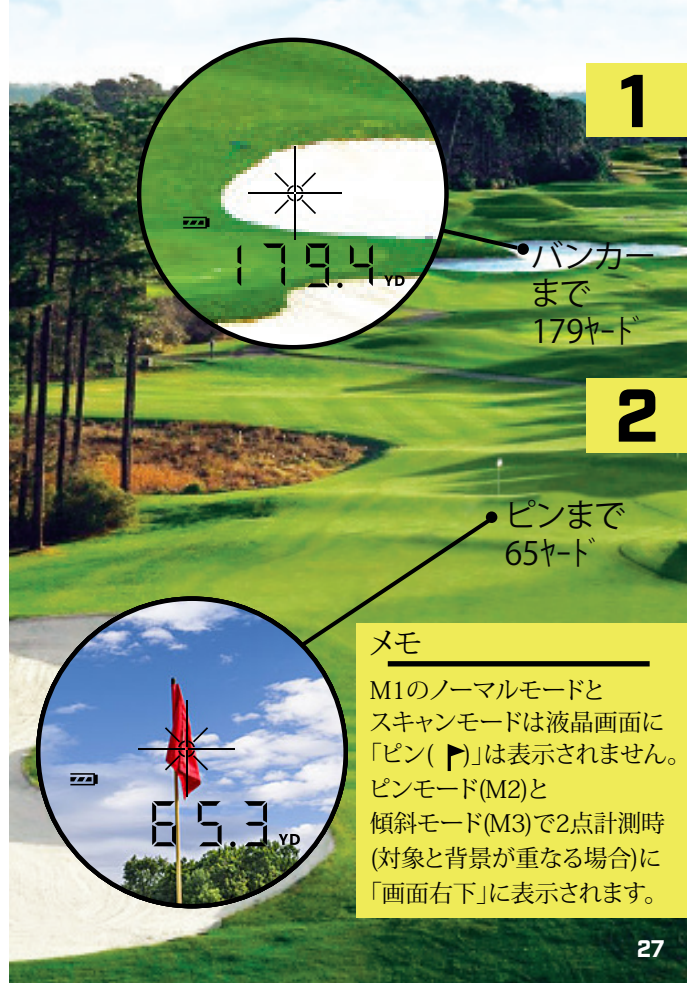
計測は「 電源ボタン」を「長押ししたまま」で行います。

スキャンモードは「風の強い日」や「目標が見えにくい場合」にお勧めです。

ピンの計測は「M2」又は「M3」を使用して下さい。

1 電源をオンにした後、「M1」の表示になっていることを確認して下さい。(25頁 図1参照)
スキャンモードは「 電源ボタン」を長押ししたまま計測します。

2 最初の目標に合わせて「 電源ボタン」を押したまま計測を開始します、最初の目標距離が表示されたら、そのまま次の目標に合わせて計測します。 最長10秒間は連続で計測が可能です。




1

バンカー
まで
179ヤード

2


ピンまで
65ヤード



メモ

M1のノーマルモードとスキャンモードは液晶画面に「ピン()」は表示されません。ピンモード(M2)と傾斜モード(M3)で2点計測時(対象と背景が重なる場合)に「画面右下」に表示されます。


ピンモード(M2)

ピンモードはグリーン上の「ピンフラッグの背景」に木々や雲などが重なりピンの計測が難しい場合に使用します。このモードは強風時にもお勧めです。特に「対象と背景が重なる場合」はピンをロックした際に振動(バイブレーション)するので距離に自信をもってプレーする事が可能です。

- 1 本体先端のスロットを収納した状態で電源をオンにして「モードボタン」を押して画面上部の表示を“M2”に変更して下さい。
ピンモード+振動モードでの計測になります。

- 2 ピンに狙いを定めて「電源ボタン」を長押しして測定します。本体が振動した後で、画面に直線距離(中央下)が表示されれば測定完了です。
(の表示については29頁参照)

本機は最も近い目標(ピン等のターゲット)にロックして距離を表示します。



※下図に表示されているピンマーク()は2点計測時(目標と背景が重なる場合)のみ表示されます。

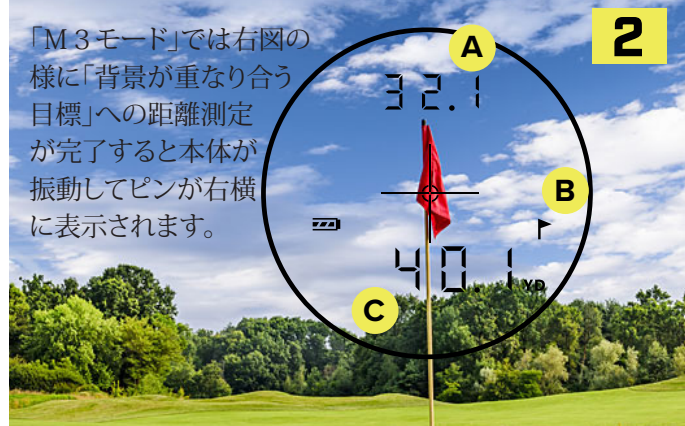
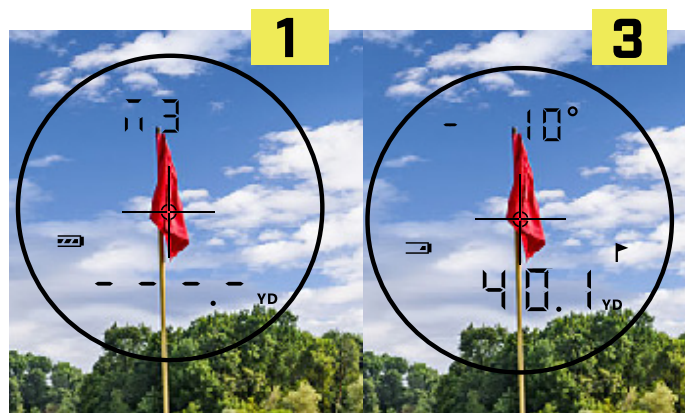
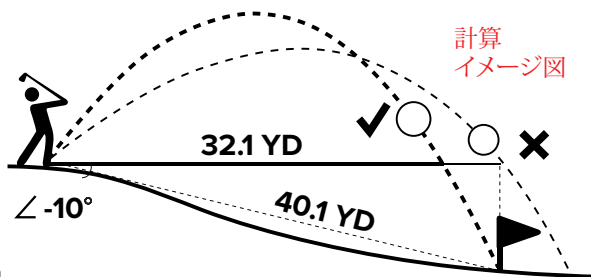


※背景が重なっていても、計測した最も近いターゲットにロックし、距離を表示します。

※上手く出来ない際は測定ボタンを「長押し」しながら照準をピンの「旗に合わせてから左右に動かす」ことでより正確にピンを認識できます。(上図の左右矢印参照)

傾斜モード + 振動 (M3)

- 1 電源をオンにして、本体先端のスロットを引っ張ると(22頁を参照)、液晶画面上部に「M3」が表示されます。(右頁 **1** 参照)
- 2 照準を目標に合わせて「 電源ボタン」を長押しして測定します。傾斜を考慮した距離「実際に必要な距離」は画面上部に表示されます。(右頁 **2** 参照)
- 3 傾斜角度を見るには、「 MODEボタン」を押します。(右頁 **3** 参照)



- A) 傾斜を考慮した必要な距離
- B) ピンロック表示・・・(2つの距離を見つけた場合表示)
- C) 目標までの直線距離

製品のお手入れ

1 ご使用後は専用ポーチなどに収納する前に各レンズ表面に付着している埃やゴミをブラシなどで取り除いて下さい。

2 本体外側の「汚れや指紋」は付属品のマイクロファイバークロスや柔らかい布、ティッシュ等で取り除いて下さい

3 液体クリーナーでレンズを拭く場合は、カメラのレンズクリーナーなどに使用されているイソプロピルアルコール製などを「必ずクロスに染み込ませて」からレンズを優しく拭いてください。 **注意:絶対にいかなる液体も直接レンズに落とさないで下さい。**

4 温度差による結露や、雨天・霧・草露が製品内部に入ってしまった場合は

「絶対に電源を入れずに電池を抜き」
直射日光に2-3時間程度当てて内部を乾燥させて下さい。


5 1ヶ月以上使用する予定がない場合は内蔵した**CR123 3V**電池を取り外しておいて下さい。**※電池の液漏れ防止の為**

6 本機は精密機械です。

未使用時は氷点下や高温多湿になりやすい場所(例:車中)での保管は絶対にお止め下さい。
家の中など常温で乾燥した場所での保管をお願いします。落下などの破損も保証対象外です

おかしいな?と思ったら


電池を入れたが画面が表示されない

1. 電池を取り出して、入れ直して下さい。
2. **CR123 3V**電池の+/-極を確認して下さい。
3. 電池端子部分に異常が無いか確認して下さい。
4. 電池に「液漏れ」が無いか確認して下さい。
5. 本体内部のバネ異常・内部破損が無いかを確認して下さい。
6. 電池を入れた状態でゆっくりと1回「 電源ボタン」を押して下さい。
7. **CR123 3V**電池を新品と交換して下さい。

液晶画面の表示が消える

1. 本体と電池・ケースが水気が無く乾燥した状態かを確認して下さい。
2. 直射日光に2-3時間程度当てて内部を乾燥させて下さい。
3. 電池が交換時期に来ている場合は、交換して下さい

距離が測定できない


1. 電源が入っているかを確認して下さい。
2. 本体の各レンズ表面に付着物が無いかを確認して下さい。
3. 本機の最長測定距離を超えていないかを確認して下さい。
4. 目標迄の距離が16ヤード (15メートル)以上離れているかを確認して下さい。
5. 設定を**M1**(ノーマルモード)にして「 電源ボタン」を押して計測して下さい。




傾斜モード(M3)測定が出来ない


1. M3モードにした上で「水平状態」から、「上下いずれか」にある目標に照準を合わせて下さい。
2. 照準は水平状態から本体を上下に傾けて計測すると傾斜モードが正常に機能する場合があります。






安全な使用について

人への危害・財産への損害を防ぐため必ず遵守下さい

 危険マーク:してはいけないこと

-  1. 子供の手の届かない所に保管して下さい。
-  2. 電源を入れた後、絶対に対物レンズを覗いたり明るいものを見ないで下さい。
-  3. 絶対に本機を人や動物・太陽に向けないで下さい。

 注意マーク・注意すること

-  4. 本機を絶対に改造したり、故意に水濡らさないで下さい。 ※本機は生活防水のみ対応
-  5. 精密機械です絶対に不安定な場所や滑りやすい場所に置かないで下さい。 ※衝撃・落下は故障最大要因となります、本機を分解しないで下さい。 ※本体外装の欠損等がある場合は保証対象外
-  6. 本機のレンズは絶対に手で触らないで下さい。 ※レンズ専用のクロスなどで拭いて下さい。
-  7. 使用しない時は、車内・トランク等の高温多湿を避け直射日光の当たらない場所で保管して下さい。
-  8. 未使用時の保管
高温による故障防止の為、プレー中の休憩時間や終了後は「直射日光が当たらない10-35℃以内での保管」を推奨します。